

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro野比		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ間の連携</li> <li>・支援方針の共有</li> <li>・保護者への情報共有</li> <li>・安心、安全である場所の提供</li> <li>・相談しやすい環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を発言しやすい環境づくり</li> <li>・個別支援計画等の内容を全員が確認出来る仕組み</li> <li>・事故が起こらないように整理整頓、動線の確保、スタッフ間連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ育成</li> <li>・全スタッフの認識の統一</li> </ul>
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員不足(送迎可能スタッフ等)</li> <li>・教室の狭さ</li> <li>・保護者の方へ支援機会の提供(障害特性への理解等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員補充</li> <li>・スタッフ育成</li> </ul>
2			
3			

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	toiro野比		公表日		2025年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	・使用していない玩具を片付けるように促したり、端に寄せたりしてスペースを作る。 ・児童に対して部屋が狭い。荷物を置く場所を移動出来るコンテナにする等、工夫している。 ・折りたたみテーブル、荷物入れはコンテナにする等、出来るだけ活動スペースを広く保てるようにしている。	・整理整頓を今後も継続し、活動スペースを常に確保。 ・児童、職員の補充を行い、運営を安定させ、他の場所への拠点移動を会社として検討出来るだけの実績を構築する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・児童の人数、状態を把握し、部屋を離れるタイミングを計り、必ず一言声を掛ける。 ・職員間にて、こまめに連携を図っている。	・人員補充を行い、支援の充実及び送迎対応範囲を広がる体制を整える。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	・視覚的表示の分かりやすさ ・危険箇所への保護テープ ・子供に分かりやすいように工夫はしている。	・常に環境面の改善を図り、児童のにとって安全、安心出来る環境を作る。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日の清掃、消毒を行う。 ・玩具は決められた場所へ収納されている。 ・日々整理整頓を心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・気持ちを落ち着かせられるよう、他の利用者と離れ、個別に過ごせる場所があったら良いと思う。 ・相談室を利用しているが来客時には難しい時もある。	・クールダウンに使用できる部屋が相談室以外はない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・申し送りにより日々の活動が明確である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・保護者向け評価表を配布して回収した物を開示していただけると良いと思う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・拠点長を始め、全スタッフへ相談しやすい環境である。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・臨機対応に対応出来るよう、指導を仰ぐ。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・受講希望	・社内研修はもちろん事業所内研修の実施
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・人員不足や時間に余裕がない場合、個別での共有となる。	・人員補充、個別共有の実施。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・業務を行いながらその場のスタッフで共有は行う。	・人員不足より支援後にしっかりと時間を取ることは難しいが、報告及共有を口頭またはラインワークスにて実施。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・担当者のみ	・スタッフへの参加機会を検討中。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・学校との情報共有を主とした連携	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・現時点では支援実績なし。 ・学校卒業の子がまだいない為、分からない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		・SV巡回訪問の予定あり。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・外出イベントを含む	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	・担当者のみ	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他拠点との共同イベント等、保護者の参加することが出来る機会を設けた。</li> <li>・保護者が参観出来る機会を設けている。</li> </ul>	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画、参加の意思確認段階であり。</li> <li>・ハロウィン等、地域にも協力を得ている。</li> </ul>		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				